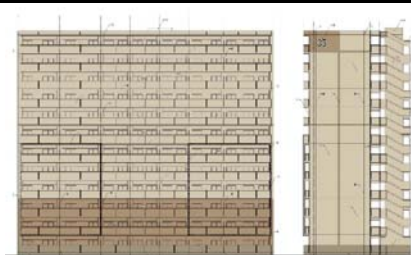


# CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)公営住宅(弥永住宅その2地区)新築工事	階数	地上12F
建設地	福岡県福岡市南区弥永団地44-3外	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域	平均居住人員	216 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年12月 予定	評価の実施日	2019年1月30日
敷地面積	3,985 m <sup>2</sup>	作成者	神川あかね
建築面積	545 m <sup>2</sup>	確認日	2019年5月22日
延床面積	5,100 m <sup>2</sup>	確認者	馬場 奈美



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 1.0</b> ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> Qのスコア = 2.6</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア = 2.7</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア = 2.8</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> Q3のスコア = 2.2</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> LRのスコア = 3.4</p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア = 4.0</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア = 2.8</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア = 3.2</p>

3 設計上の配慮事項		
総合	居心地のいいシンプルな環境を整えた住戸及び共用空間を持ったスタイルの住宅計画	
その他		
<b>Q1 室内環境</b>	<b>Q2 サービス性能</b>	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>
F☆☆☆☆の建材を使用することによりホルムアルデヒドの発生をおさえている	居室の天井高2.5m以上を確保することにより、ゆとりのある居住空間を計画している。また、給水・給湯の配管はさや管ヘッダーシステムの採用により、躯体や仕上げを痛めることなく更新ができる。	周辺の環境に溶け込みやすいデザインとしている
<b>LR1 エネルギー</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b>	<b>LR3 敷地外環境</b>
ガス給湯器を高効率型を採用することにより、建物の熱負荷による熱負荷を軽減している。また、台所水栓は節湯器具を採用し、照明は白熱灯を使用しないことにより設備の省エネ化を図っている。	水資源保護を考慮し、省エネ型大便器を採用している	ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率を抑制し、地球温暖化への配慮がなされている

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される